

子どもたちの未来の医療を守るために

いま、私たちができること



岐阜県内の各市町村ではお子様が病院や薬局にかかる際、窓口での医療費負担が無料になる制度（**福祉医療費助成制度**）を実施しています。

病気やけがをした場合でも安心して受診できる一方、医療費は年々増加しており、限られた財源を有効活用するためにも、皆さまのご理解とご協力が必要です。

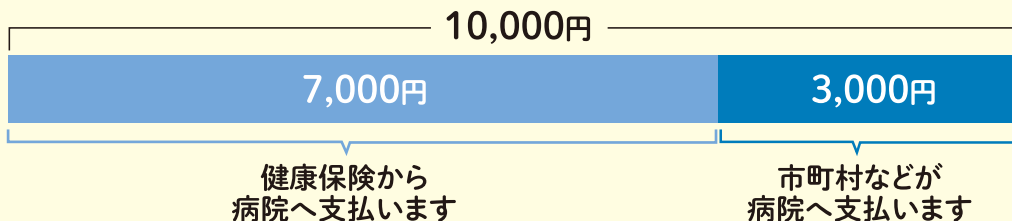
いま、私たちに
できること
(裏面)

Q 子どもの医療費が**無料**になるのはなぜですか？

A 医療費の**7割**(※)を健康保険が、**3割**(※)を市町村などが負担しているためです。

(※)未就学児の場合は8割を健康保険が、2割を市町村などが負担しています

例：小学生が病院で診療を受け、10,000円の医療費がかかった場合

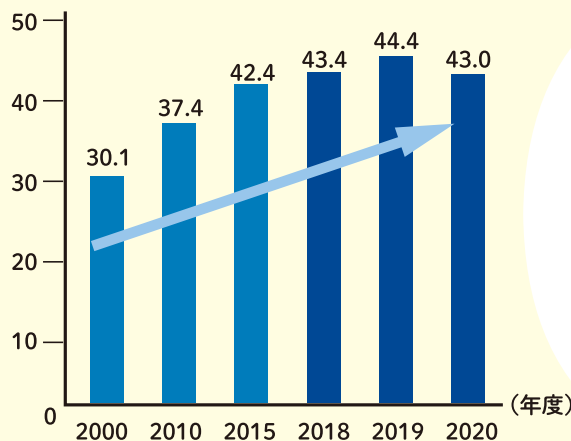


皆さまが納めた健康保険料や税金が財源となっています

つまり… **実質は皆さまが負担**していることとなります

国民医療費

(単位:兆円)



※政府統計ポータルサイト(令和2年度国民医療費より)
※2020年は新型コロナウイルス感染症の影響等により減少

このまま医療費が増え続けると…
窓口負担が増加したり、
健康保険料負担が上昇
する可能性が
あります。



その
1

病院や薬局でお薬をもらうときは

「ジェネリック医薬品」をご活用ください。
すでに約8割の方がジェネリックを選んでいます。

ジェネリック医薬品は、新薬と同等の有効成分・効果があると厚生労働省から認められた安価なお薬です。

また、お子様にも飲みやすい工夫がされているものもあります。



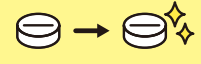
製剤の小型化

大きく飲みづらい錠剤を小型化で飲みやすく



剤形の変更

カプセル剤を飲みやすい錠剤に変更

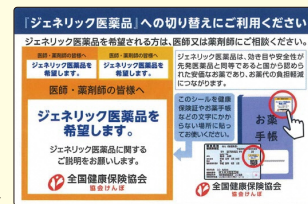


味(苦味等)の改良

苦味の強い錠剤の味を抑えた味に改良

ジェネリック医薬品をご希望される場合は、
医師・薬剤師にご相談ください。

保険証やお薬手帳に貼って意思表示ができる
「ジェネリック医薬品希望シール」もご用意しています。



(一部の医療保険を除く)

▲ジェネリック医薬品希望シール(例)

お薬代が安くなることにより、医療費の抑制に繋がります

その
2

病院を受診するときは

同じ病気ではひとつの医療機関を受診しましょう。

複数の医療機関の受診は、検査や薬が重複し、体への負担も考えられます。

※現在の治療に疑問・不安がある場合はセカンドオピニオンを求めることが可能です。

かかりつけ薬剤師(薬局)を持ちましょう。

お薬手帳を持参し、お薬の不安・疑問を相談しましょう。



年に一度、特定健診を受けましょう

マイナンバーカードを取得して保険証利用することで、
マイナポータルで特定健診情報・薬剤情報が
確認できます。